

酸化エチレン処理技術分野における手数料の考え方について

「測定・分析等」

項目	内訳	備考
人件費	測定・分析等にかかる、実証機関職員の人件費	
補助職員賃金	実験補助アルバイト代	
委託費	シミュレーション装置の設置・運転委託 (シミュレーション装置、コンプレッサー/エアエジェクター、後処理装置、配管部、配電盤、消費電力計、設備工事費、試験運転)	
計器類のリース	風速計、ガスメーター、ガスクロマトグラム、全炭化水素計、CO 計、NOx 計、マスフローコントローラー、記録計など	実証機関が所有していればリースは不要

「試験に伴う消耗品」

項目	内訳	備考
消耗品	EOG ボンベ (20%、95%) EOG 吸着管、EOG 検知管、薬品代等	
電気代		

「出張旅費 (実証機関)」

項目	内訳	備考
旅費	実験施設までの交通費	

フィールド調査、出張しての実験があれば別途計上。

< 酸化エチレン分野特有の要検討事項 >

委託 (リース) 費用の占める割合が高く、固定費割合が高い。このため、想定される一件あたりの手数料は、申請件数の多寡により、大きく変動する。

申請件数の少ないケースでの、申請者負担額は妥当か。

技術公募段階で、どのようなかたちで手数料金額を提示できるのか。

申請機器の処理原理や仕様によっては、試験項目の数 (パターン A, B) 環境負荷物質 (排水・排ガス、2 次生成物) の測定項目が異なってくる。(ただし、上記固定費の問題に比較し、金額差は小さい。)

原理や仕様によって、手数料は変動すべきかどうか。